

令和8年2月女性診療科群の献体を使用した臨床医学の教育及び研究(CST) に使用されるご献体をご提供いただいたご家族の皆様へ

「アイトラッカーを用いた視線解析によるロボット支援手術における
初学者と熟練者の視線行動の差異についての検討」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院鳥取大学ロボット手術研修・医療機器イノベーションセンター（通称^{トルソー}ToRSC）では、令和8年2月に実施される女性診療科群の「献体を使用した臨床医学の教育及び研究（カダバーサージカルトレーニング、以下CST）」において、手術支援ロボットを操作した臨床医、および使用されたご献体を対象に、執刀歴、手術記録等の診療情報、アイトラッカーにより収集した視線情報から得られる情報、ご献体の疾患情報を基に研究を実施しています。この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2026年2月23日の鳥取大学医学部附属病院女性診療科群主催のロボットCSTに参加した医療者の皆様の視線の情報を集めさせていただき、「ロボット支援手術中における医師の視線情報（どこを見ているか、注意を向けているか）」を調査します。また、それ以外にも、ロボット操作中の医師の「瞬きの頻度」や「瞳孔の大きさの変化」やご献体の疾患情報などについても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院 ToRSC で集計されます。なお、情報（視線に関する情報）は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となるご献体のご家族は、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

本研究において、ご献体の情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【ご献体に関する情報】

年齢、性別、識別番号、既往歴、病歴

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2028年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

ご献体の情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにしてご献体の個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、ご献体の氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、ご献体個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどのご献体のものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報とご献体個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

また、本研究で収集した情報（ご献体を使用した研修中の動画像を含むご献体に関する情報）は、情報の解析のため、株式会社 MEDEMIL に提供する可能性があります。その場合、情報は匿名化したうえで、厳重なセキュリティ管理下で電子データとして提供されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいたご献体のご家族の皆様には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来ロボット支援手術を行う若手臨床医に対する教育の質的向上に寄与する可能性があります。なお、情報を使用させていただいたご献体のご家族の皆様への謝礼等もありません。

不利益・・・鳥取大学医学部で管理されている記録からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、ご献体の情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、ご献体個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

ご献体個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、該当するご献体の情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院 ToRSC の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、ご献体が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者にご献体の個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、ご家族の皆様には帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、ご献体の情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご献体の情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

小松 宏彰 鳥取大学医学部附属病院 女性診療科群 講師
〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1
TEL：0859-38-6647 / FAX：0859-38-6649

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)